

水稻（コシヒカリ）栽培における  
 土壤改良剤施用効果確認実証圃  
 (1989)

調査報告書

1. 試験調査機関	石川県小松市園町ハ-108-1 石川県小松農業改良普及所
2. 試験圃場の場所 及び耕作者	石川県小松市串町 山下 宗則
3. 供試品種	コシヒカリ
4. 試験方法	1区10aの圃場を2等分して耕起時にサンキョー医王素80を120kg/10a施用(試験区)を設け、無施用(対照区)と比較調査した。

(耕種概要)

- 育苗
  - 育苗様式 稚苗
  - 播種期、量 4月10日 180g/箱
  - 施肥量 N:2g/箱 P:2g/箱 K:2g/箱
- 水田
  - 乾湿田別 半湿田
  - 作土の土性 壤土
  - 作土の深さ 11cm
  - 日減水深 2cm/日
  - 耕起時期、方法 4月20日 ロータリ-耕
  - 移植期 5月10日
  - 栽植密度 30cm×19cm (17.5株/m<sup>2</sup>)
- 施肥体系 (kg/10a)

区名/項目	基肥	活着肥	追肥	穂肥		実肥	計
肥料名	燐加安 42号	燐加安 42号		追肥 40号	追肥 40号		
施用月日	4.30	5.18		7.20	7.27		
施用量	20	20		10	10		
N	2.8	2.8		1.5	1.5		8.6
P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	2.8	2.8		0.5	0.5		6.6
K <sub>2</sub> O	2.8	2.8		2.0	2.0		9.6

(調査成績)

1. 生育調査

区名	6月14日		最高分けつ期 6月13日		成 熟 期 9月13日			有効茎歩合	出穂期	倒伏期	収穫期 生葉数
	草丈	茎数	草丈	茎数	幹長	穂長	穂数				
試験区	cm 30.9	本/m <sup>2</sup> 375	cm 39.3	本/m <sup>2</sup> 525	cm 87.2	cm 18.3	本/m <sup>2</sup> 382	% 72.8	月日 8.2	% 0	枚 3.0
対照区	30.4	313	37.5	446	91.0	18.1	385	86.3	8.2	40	2.3

2. 収穫期

9月17日

3. 収量調査

(kg/10a)

区名	わら重	籾重	玄米		屑米重	収量構成要素				
			重量	比率		穂数	1穂籾数	籾数	登熟歩合	千粒重
試験区	706	662	525	109	20	本/ 382	粒 75.0	粒/ 28.650	% 77.5	g 23.2
対照区	629	614	480	100	23	385	71.2	27.412	73.0	23.2

4. 品質調査

(玄米20kg)

区名	完全粒	腹白粒	心白粒	青米活	茶米	同割米	乳白米	着色粒	青未熟	その他
試験区	93.0	0.2	1.9	0.3	0.3	3.1	0.7	—	—	0.5
対照区	89.1	0.6	1.7	1.3	0.6	4.4	2.0	—	—	0.3

5. 葉色及び土壌分析調査

区名	6月14日			6月23日			月 日		
	葉色	PH	NH <sub>4</sub> -N	葉色	PH	NH <sub>4</sub> -N	葉色	PH	NH <sub>4</sub> -N
試験区	4.2	—	0.60	4.0	—	0.56			
対照区	4.2	—	0.62	4.0	—	0.54			

（調査結果及び考察）

1. 生育状況

試験区は対照区に比し、茎は太く生育は良好であった。

2. 収量及び品質

試験区は対照区に比し、一穂粒数が多かった他、登熟歩合が高く9%の増収となった。品質では、試験区は良好で特に乳白粒は少なかった。

3. 病害虫発生状況

対照区は紋枯れ病が目立ったのに対し、試験区はほとんど確認できなかった。

4. 普及性の有無及び問題点

1ヶ年の成績であるが普及性はあると思われる。